

## スペースシャワーTVの新イベント 「SPACE SHOWER 3rd Place vol.1」開催!

日本最大の音楽専門チャンネル、スペースシャワーTV主催の新イベント「SPACE SHOWER 3rd Place vol.1」を11月26日(月)にShibuya WWWで開催致しました。日常生活における大事な居場所——家、職場や学校、そしてもうひとつ“音楽の場所”をスペースシャワーTVがつくろうというテーマで立ち上げたこのイベント。記念すべき第1回目は長澤知之、石崎ひゅーい、小南泰葉という「歌」で感動できるアーティスト3組が出演致しました。詳しくは次ページのライブレポートをご覧ください。

なお、こちらのイベントの様子は、2013年月1月15日(火)23:00からスペースシャワーTVにてオンエア致します。つきましては、情報掲載のご検討を頂ければ幸いです。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



セッション



小南泰葉



石崎ひゅーい



長澤知之

Photo by 上飯坂 一

### SPACE SHOWER 3rd Place vol.1 開催概要

- ◆イベントタイトル: SPACE SHOWER 3rd Place vol.1 (読み:スペースシャワー サードプレイス ポリュームワン)
- ◆出演:長澤知之 / 石崎ひゅーい / 小南泰葉 (読み:ながさわともゆき/いしざきひゅーい/こみなみやすは)
- ◆開催日時:2012年11月26日(月) OPEN18:00/START19:00
- ◆会場:Shibuya WWW
- ◆主催・企画・制作:スペースシャワーTV
- ◆イベントオフィシャルホームページ: <http://www.spaceshowertv.com/3rdplace/>

★スペースシャワーTVでは、このイベントの様子を特別番組にてオンエア致します。

◆番組タイトル:「SPACE SHOWER 3rd Place vol.1」

◆放送日時 初回放送:1/15(火)23:00~24:00

リピート放送:1/26(土)25:30~、1/31(木)26:00~

<本件に関するお問合せ先・資料請求>

株式会社スペースシャワーネットワーク プロードキャスト事業部門 編成本部 プロモーション部  
TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 担当:岩井(iwai@spaceshower.net)

# SPACE SHOWER 3rd Place vol.1 ライブレポート

スペースシャワーTVが新たに立ち上げたイベント『SPACE SHOWER 3rd Place vol.1』が、11月26日(月)にShibuya WWWで開催された。『3rd Place』のテーマは、日常生活における大事な居場所―家、職場や学校、そしてもうひとつ“音楽の場所”を提供すること。音楽を中心にアーティストとオーディエンスが親密に呼応し共鳴する空間を実現すべく、記念すべき第1回目となる今回は、長澤知之、石崎ひゅーい、小南泰葉の3組が顔をそろえた。

トップバッターは、小南泰葉。まずはピアノとバイオリンをバックに静謐なバラード「やさしい嘘」を情熱的に唄い上げる。そのヴォーカルは凛とした存在感をたたえながら真つすぐオーディエンスに向かっていく。「今日は私の大好きなミュージシャンとの共演ということですごく楽しみにしてきました」というMCとバンド・メンバーの紹介を経て、2曲目「ルポルタージュ精神病棟」からは、ヒリヒリしたロック・サウンドと交わっていく。時に切迫した思いがそのまま表出したような絶唱を響かせながら、フロアの熱気を上昇させた。「私が思う光と影は時に残酷なんですけど、ちゃんと届けばいいと思います」と語ったあとに放たれた、彼女のディープな作家性がエモーショナルかつポップに昇華された「Trash」の求心力は格別だった。12月12日にリリースされるセカンド・アルバム『121212』からは、ハードなロック・イズムを剥き出しにする「『善悪の彼岸』」と、2年前に亡くなった友人に捧げるピアノ・バラード「12月12日」をラストに披露。小南泰葉というアーティストの核心をまざまざと感じられるステージだった。

続いて登場したのは、石崎ひゅーい。1曲目「シーベルト」からスタンドに固定したマイクが外れてしまうほど前のめりなステージを展開。マイクを直すスタッフやバンド・メンバーにキスをするチャーミングな一面も見せながら、まさに全身全霊で楽曲に込めた激情を解き放っていく。音楽が鳴っているすべての瞬間に鮮烈な情動と色彩と情景を塗りつけるような彼のヴォーカルを浴びて、オーディエンスのテンションもどんどん上昇しているのわかる。「みんなお帰り。ここは3rd Placeだからね」と呟いたあとにドラマティックなメロディが印象的なバラード「人間図鑑」を熱唱。続くニュー・シングル「ファンタジックレディオ」と亡くなった母に対する愛情を刻みつけたデビュー曲「第三惑星交響曲」では、ステージを飛び跳ねながらキラキラしたポップネスを響かせた。ラストの「花瓶の花」を唄い終えるまでステージの熱量を微塵も下げることなく、忘れがたき余韻を残したまま石崎はステージを去った。

トリを飾ったのは、長澤知之。まずはアコースティック・ギターで「マンドゴラの花」と「スリーフィンガー」を鳴らし、長澤独自の文学性とブルースをたたえた歌の凄みが会場全体に広がっていく。長澤の歌は音楽的な意味でも、思想的な意味においても、ボーダーレスだ。そこには森羅万象の息吹を映し出すような広がり、人間の生々しい体温と感情をありのままに閉じ込めたような迫真性がある。「よろしく、長澤知之です」という挨拶に大きな拍手が起こる。3曲目「夢先案内人」からは、バンド編成で。心底から沸き上がる本音を激しく吐露するようにフォーキーなメロディを編む長澤のヴォーカルが、ダイナミックなサウンドに乗って、猛々しく高鳴る。演奏が終わることにフロアに漂う独特の緊張感がたまらない。静寂を少しずつ切り裂くように鳴らされた「明日のラストナイト」から、スリリングに転がっていくロックンロール「神様がいるなら」、痛快に跳ねるグルーヴが印象的な「真夜中のミッドナイト」へとつなぎオーディエンスを熱狂させた。「今日はひゅーいとか、泰葉ちゃんとか仲のいい人とやれてうれしいな」と語る長澤は、とてもいい顔をしていた。ラストの「茜ヶ空」を雄渾なスケールで弾き語り、鳴り止まない拍手はそのままアンコールのそれへと変わった。

アンコール。長澤が小南と石崎をステージに呼び込み、この日だけのスペシャル・セッションへ。3人はオーディエンスにハンドクラップと足踏みを促し、ジャニス・ジョプリンの「メルセデス・ベンツ」をアカペラでカバー。そして、大ラスはバンド・サウンドで長澤の楽曲「あんまり素敵じゃない世界」を分かち合った。同時代に生き、淀みな音楽世界を創造する3人のシンガーソングライターによって生まれた、特別な場所。第1回の『3rd Place』は多幸感に包まれたまま幕を閉じた。なお、このイベントの様子は、2013年1月15日(火)23時よりスペースシャワーTVにて60分の特別番組としてオンエアされる。お見逃しなく。

Text by 三宅正一

## セットリスト

### 小南泰葉

- M1.やさしい嘘
- M2.ルポルタージュ精神病棟
- M3.世界同時多発ラブ仮病  
捏造バラード不法投棄
- M4.Trash
- M5.「善悪の彼岸」
- M6.嘘憑きとサルヴァドール
- M7.12月12日

### 石崎ひゅーい

- M1.シーベルト
- M2.人間図鑑
- M3.ファンタジックレディオ
- M4.第三惑星交響曲
- M5.329人
- M6.花瓶の花

### 長澤知之

- M1.マンドゴラの花
- M2.スリーフィンガー
- M3.夢先案内人
- M4.センチメンタルフリーク
- M5.明日のラストナイト
- M6.真夜中のミッドナイト
- M7.神様がいるなら
- M8.ハベル
- M9.茜ヶ空

### セッション

- M1.メルセデスベンツ
- M2.あんまり素敵じゃない  
世界

<本件に関するお問合せ先・資料請求>

株式会社スペースシャワーネットワーク ブロードキャスト事業部門 編成本部 プロモーション部  
TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 担当:岩井(iwai@spaceshower.net)